

市史跡

鳴塚古墳（鳳凰寺）

伊賀市東部、山田盆地東方の奥まった谷間の水田の中に、伊賀市の後期古墳を代表する鳴塚古墳（前方後円墳）があります。本墳は前方部を東に向けて造られていて、全長37m、後円部径21m、前方部幅16mの規模を有します。昔の文書によれば、かつて墳丘の周りに池があり、後に埋められたとされることから、周壕を伴う古墳であったとも考えられます。後円部には南に開口した横穴式石室が露見していますが、石材の大きさが不揃いであり、扁平な石材を乱雑に積み上げた様子から、伊賀地域における横穴式石室導入期の一例と考えられます。

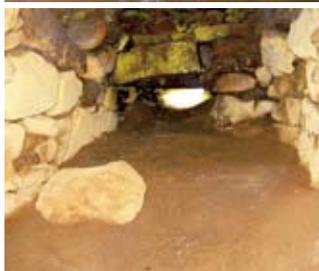


墳丘全景（南から）

◀石室奥壁



◀石室入り口

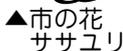


古くから石室が開口していたこともあり、古墳からの出土品が地元で伝えられています。小型鏡や玉類、須恵器といった資料が知られていますが、横穴式石室を有する古墳に鏡が副葬されることはきわめて稀です。また、須恵器の中には装飾須恵器と呼ばれる特異な形状のものもあり、こういった須恵器は下中島2号墳（平田）でも出土していて、山田盆地の古墳群の一面を示しています。鳴塚古墳は伊賀市内における最終末の前方後円墳であり、本墳築造を契機に周辺の丘陵地では群集墳が爆発的に築造されるようになります。このことは前方後円墳の時代が終わりをつげ、群集墳の時代が到来したことを示し、本墳はその転換期を示す貴重な遺跡と言えます。

教育委員会文化財室 ☎ 22・9681



市の木
▼アカマツ



▲市の花
ササユリ

市の鳥
▼キジ



ひとが輝く 地域が輝く
～住み良さが実感できる自立と共生のまち～
伊賀市 IGA CITY



わくわく子どもフェスタ

3月9日、県立ゆめドームうえので「わくわく子どもフェスタ」が行われました。

子どもが楽しめるさまざまな体験コーナーがあり、ペットボトルとはさみ、ビニールテープなどで作るペットボトルロケットでは、ロケットの本体やハネを作るところから取り付けるまでに時間がかかり、子どもたちは、親に手伝ってもらいながら自分だけのロケットを完成させました。また、めんこ・コマなど昔なつかしい遊びも体験し、大人と一緒に楽しみました。（今月の表紙）



発行日 平成20年4月1日
発行 伊賀市
〒518-8501
三重県伊賀市上野丸之内116番地
編集 企画振興部広聴広報課
☎ 0595-22-9636
FAX 0595-22-9617
伊賀市ホームページ：
<http://www.city.iga.lg.jp/>